

「北海道SDGs推進ビジョン」の推進状況

＜令和元年度（2019年度）＞

【優先課題Ⅰ あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成】

＜「対応方向」ごとの主な指標の進捗状況＞

i 医療・保健・福祉の充実		目標値	達成率
・全道の医療施設に従事する医師数	238.3人(2016年) → 243.1人(2018年)	全国平均値(2025年)	98.6%
・北海道福祉人材センターの支援による介護職の就業者数	89人(2017年度) → 150人(2018年度)	230人 (2025年度)	65.3%
ii 平和な社会づくりの推進		目標値	達成率
・交通事故死者数	148人(2017年) → 141人(2018年)	150人以下	106.4%
・刑法犯認知件数	28,160件(2017年) → 25,459件(2018年)	前年実績以下 (2025年)	110.6%
iii 人々が互いに尊重し合う社会づくりの推進		目標値	達成率
・人権侵犯事件数 (人口10万人当たり)	15.7件(2017年) → 12.6件(2018年)	全国実績値 (2025年)	119.1%
iv 災害に強い地域づくりとバックアップ機能の発揮		目標値	達成率
・自主防災組織活動カバー率	56.2%(2017年度) → 59.7%(2018年)	全国平均値以上(2019年度)	71.8%
・リスク分散による企業立地件数	73件(2015年度～2017年度) → 73件(2016年度～2018年度)	92件 (2016年度～2019年度)	79.4%
v 安心して働ける環境づくりの推進		目標値	達成率
・就業率	54.4%(2017年) → 55.9%(2018年)	全国平均値(2025年)	93.2%
・年間総労働時間数 (フルタイム労働者)	2,041時間(2017年) → 1,987時間(2018年)	1,922時間 (2025年)	96.8%

＜推進状況等について＞

- ・ 「交通事故死者数」、「刑法犯認知件数」、「人権侵犯事件数」は目標値を達成しており、その他の主な指標も、目標値に向け推移している。
なお、「北海道福祉人材センターの支援による介護職の就業者数」の2018年度の実績値は、一定の政策効果により、ここ数年の減少傾向から上昇に転じたが、生産年齢人口の減少などによる厳しい状況は今後も続く見込みとなっている。
- ・ 道では、今後の目標達成に向け、引き続き、一定期間地域の公的医療機関等に勤務することを条件とした修学資金の貸与や、若年層を対象とした介護職の重要性や魅力についての発信などの介護人材確保対策、地域防災マスターなどとも連携した自主防災組織の結成に向けた働きかけ、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の展開による良質な雇用の創出などの取組を推進していく。

【優先課題Ⅱ 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現】

<「対応方向」ごとの主な指標の進捗状況>

i 豊かな自然と生物多様性の保全の推進		目標値	達成率
・環境基準達成率（大気汚染）	100%（2015年度）→ 100%（2017年度）	100%（2025年）	100%
・環境基準達成率（水質汚濁）	91.2%（2016年度）→ 92.0%（2017年度）	100%（2025年）	92.0%
・森林面積（育成単層林・育成複層林・天然生林）	5,538千ha（2017年度） → 5,538千ha（2018年度）	5,541千ha （2030年度）	99.95%
ii 地球環境保全の推進		目標値	達成率
・温室効果ガス排出量	6,984万t-CO ₂ （2015年度） → 6,972万t-CO ₂ （2016年度）	6,099万t-CO ₂ 以下 （2025年度）	87.5%
・新エネルギー導入量 ＜発電分野（設備容量）＞	244.9万kW（2015年度） → 292.7万kW（2017年度）	282万kW （2025年度）	103.8%
・新エネルギー導入量 ＜発電分野（発電電力量）＞	6,775百万kWh（2015年度） → 7,921百万kWh（2017年度）	8,115百万kWh以上 （2025年度）	97.7%
・新エネルギー導入量 ＜熱利用分野＞	13,979TJ（2015年度） → 14,932TJ（2017年度）	20,133TJ以上 （2025年度）	74.2%
iii 持続可能な生産と消費の推進		目標値	達成率
・廃棄物の最終処分量	115万t（2013年度） → 106万t（2016年度）	86万t （2025年度）	81.2%

<推進状況等について>

- ・ 「環境基準達成率（大気汚染）」や「新エネルギー導入量＜発電分野（設備容量）＞」で目標値を達成しており、その他の主な指標も、概ね目標値に向け推移している。
なお、「環境基準達成率（水質汚濁）」は、常時監視している262の水域中、241水域で環境基準を達成したが、閉鎖性水域である湖沼の環境基準達成率が約55%にとどまっている。
- ・ 道では、今後の目標達成に向け、引き続き、公共用水域や地下水の常時監視、事業場への立入検査や監視・指導や、省エネ3Sキャンペーンによる民生家庭部門を対象とした省エネの推進、「新エネルギー導入加速化基金」の活用、廃棄物の最終処分量の減量化に向けた3Rの推進などの取組を推進していく。

【優先課題Ⅲ 北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長】

<「対応方向」ごとの主な指標の進捗状況>

i 持続可能な農林水産業の推進		目標値	達成率
・ 農業産出額	10,705 億円 (2013 年) → 12,762 億円 (2017 年)	現状値以上 (2019 年)	119.3%
・ 漁業生産額 (漁業就業者 1 人当たり)	1,079 万円 (2015 年) → 1,001 万円 (2017 年)	1,324 万円 (2025 年)	72.4%
・ 道産木材の利用量	422 万 m ³ (2016 年度) → 459.2 万 m ³ (2017 年度)	509 万 m ³ (2025 年度)	90.3%
ii 地域産業の創造やイノベーションの創出		目標値	達成率
・ 産学官の共同研究の件数	1,428 件 (2017 年度) → 1,543 件 (2018 年度)	1,500 件 (2025 年度)	102.9%
iii 中小・小規模企業の振興		目標値	達成率
・ 開業率	4.4% (2017 年度) → 4.4% (2018 年度)	10% (2025 年度)	44.0%
iv 海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続的な経済の発展		目標値	達成率
・ 道外からの観光入込客数 (うち外国人)	885 万人 (279 万人) (2017 年度) → 919 万人 (312 万人) (2018 年度)	1,150 万人 (500 万人以上) (2025 年度)	80.0% (62.4%)
・ 道内空港の国際線利用者数	305 万人 (2016 年度) → 410 万人 (2018 年度)	380 万人以上 (2025 年度)	107.9%

<推進状況等について>

- ・ 「農業産出額」、「産学官の共同研究の件数」、「道内空港の国際線利用者数」で目標値を達成しており、「道産木材の利用量」、「道外からの観光入込客数」も目標値に向け推移している。
 なお、「漁業生産額」は、海洋環境の変化や相次ぐ災害等により漁業生産量が落ち込んだことに加え、単価が上がらなかったことから、減少となっている。
 また、「開業率」は、前年度と同値であり、進捗は遅れているが、公益財団法人北海道中小企業総合支援センターにおける相談の総件数と創業に係る相談件数はともに増加を続けており、今後の開業率の増加が見込まれる。
- ・ 道では、今後の目標達成に向け、引き続き、水産資源の適切な管理、栽培漁業の推進、漁業経営の安定化や、道産木材製品の道外・海外への販路拡大に向けた取組、地域課題の解決に取り組む道内の起業者の事業に必要な資金調達等の支援、他県や他国等と連携した誘客の促進などの取組を推進していく。

【優先課題Ⅳ 未来を担う人づくり】

＜「対応方向」ごとの主な指標の進捗状況＞

i 子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくりの推進		目標値	達成率
・平均正答率の状況 （※全国平均値 100 とした場合の数値）	＜小学校＞ 国語 A 99.2 } → 国語 98.4 国語 B 96.3 } 算数 A 98.0 } → 算数 96.8 算数 B 94.6 } ＜中学校＞ 国語 A 100.7 } → 国語 99.0 国語 B 100.0 } 数学 A 98.2 } → 数学 97.2 数学 B 97.7 } （2018 年度） → （2019 年度）	全ての管内で全国 平均値以上 （2022 年度）	＜小学校＞ 98.4% 96.8% ＜中学校＞ 99.0% 97.2%
	・児童生徒の体力・運動能力の状況 （※全国平均値を 50 とした場合の数値）		＜小学校＞ 男子 49.3 → 49.1 女子 48.6 → 48.7 ＜中学校＞ 男子 48.6 → 48.6 女子 46.6 → 46.5 （2017 年度） → （2018 年度）
ii 地域や産業を担う人材の育成・確保		目標値	達成率
・就業率【再掲】	54.4%（2017 年） → 55.9%（2018 年）	全国平均値（2025 年）	93.2%
iii 男女平等参画・女性が活躍できる社会づくりの推進		目標値	達成率
・育児休業取得率	＜男性＞2.2% → 3.5% ＜女性＞81.5% → 91.3% （2017 年度） → （2018 年度）	＜男性＞13.0% ＜女性＞90.0% （2025 年度）	27.0% 101.5%
・女性（25～34 歳）の就業率	71.4%（2017 年） → 74.5%（2018 年）	全国平均値（2019 年）	96.1%

＜推進状況等について＞

- ・ 「育児休業取得率＜女性＞」は目標値を達成しており、その他の主な指標も概ね目標値に向け推移している。
- ・ 道では、今後の目標達成に向け、引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のための地域や学校の実態に応じた支援や、小学校における体育専科教員の配置促進、就業環境の改善に取り組む民間企業の優良事例を広く周知するなど働き方改革の取組の推進、女性の就業促進に向けたきめ細かなカウンセリングや再就職に対する不安解消セミナーの開催などの取組を推進していく。

【優先課題Ⅴ 持続可能で個性あふれる地域づくり】

<「対応方向」ごとの主な指標の進捗状況>

i 様々な連携で支え合う地域づくりの推進		目標値	達成率
・国や道の広域連携制度に取り込む地域数	23 地域 (2017 年度) → 25 地域 (2018 年度)	25 地域 (2025 年度)	100%
・集落対策を実施している市町村	142 市町村 (2017 年) → 151 市町村 (2019 年)	集落がある全市町村 (2025 年)	85.8%
ii 北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興		目標値	達成率
・道外に向けてアイヌ文化の価値・魅力を発信するイベントの入場者数	0 人 (2017 年度) → 22,501 人 (2018 年度)	2,100 人 (2019 年度)	1071.5%
iii 国際協力や多文化共生の推進		目標値	達成率
・外国人居住者数	32,408 人 (2017 年) → 36,899 人 (2018 年)	38,000 人 (2025 年)	97.2%
iv 社会・経済を支える持続可能なインフラ整備の推進		目標値	達成率
・緊急輸送道路上等の橋梁の耐震化率(道道)	73.9% (2017 年度) → 78.4% (2018 年度)	100% (2025 年度)	78.4%
・個別施設ごとの長寿命化計画策定率(交通、上下水道等、公園等、治水、農林水産施設、建物等)	58.3% (2017 年度) → 72.2% (2018 年度)	100% (2020 年度)	72.2%

<推進状況等について>

- ・ 「国や道の広域連携制度に取り込む地域数」や「道外に向けてアイヌ文化の価値・魅力を発信するイベントの入場者数」で目標値を達成しており、その他の主な指標も目標値に向け推移している。
 なお、「緊急輸送道路上等の橋梁の耐震化率(道道)」は、平成 28 年に発生した熊本地震を踏まえた橋梁の耐震化の方針が示されたことから、新たな対策を講じる必要がある。
- ・ 道では、今後の目標達成に向け、引き続き、集落対策未着手市町村や対策を始めて間もない市町村に対する支援や、道内の外国公館、JICA 北海道、北海道国際交流・協力相互センターとの連携、北海道強靱化計画の「自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服」に向けた関連施策などの取組を推進する。